

令和8年度 第1回 ケンシン・プラスワン運動推進委員会



ケンシン・プラスワン運動

令和8年5月28日(木)



基本理念： 誰一人取り残さない
健やかで心豊かに生活できるまち「ほうふ」

基本目標：【健康寿命の延伸】

【個人の行動と健康状態の改善】

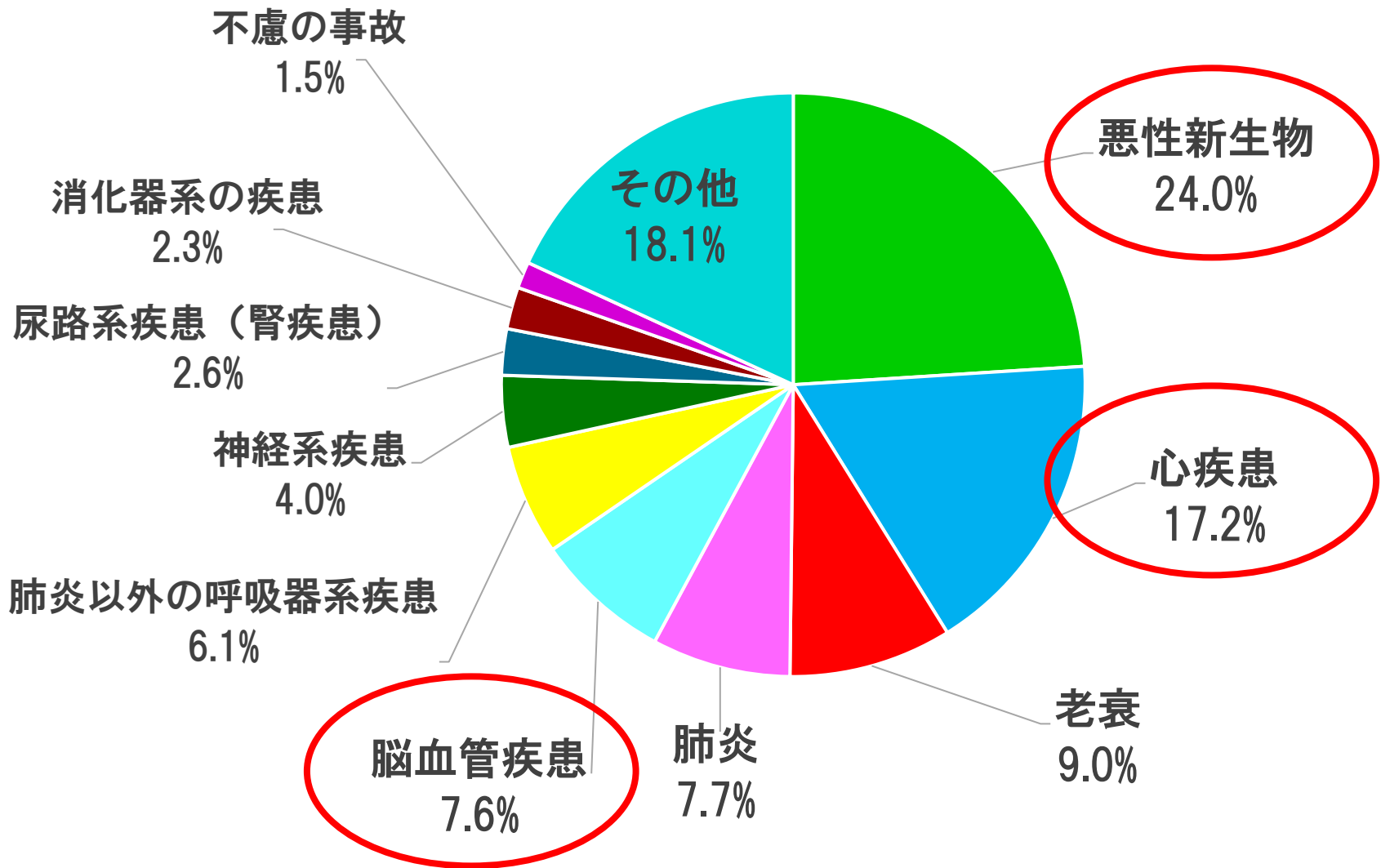
- (1) 栄養・食生活
- (2) 歯と口の健康
- (3) 身体活動・運動
- (4) 喫煙
- (5) 飲酒
- (6) 休養・睡眠・こころの健康
- (7) ケンシン

(8) 自然に健康になれる環境づくり・
地域のつながり

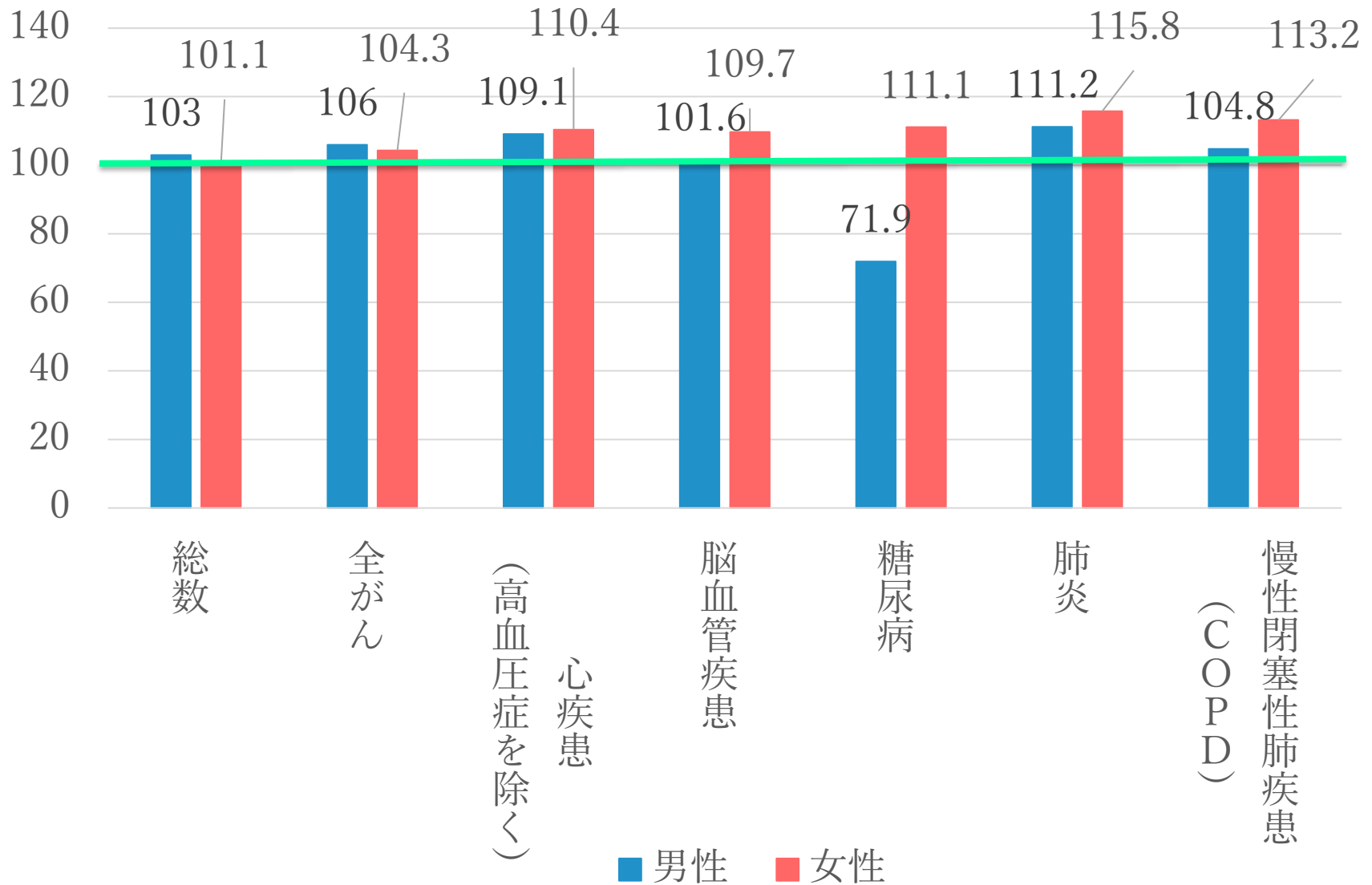
【社会環境の質の向上】

【ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり】

防府市死因別死亡割合(令和5年度)

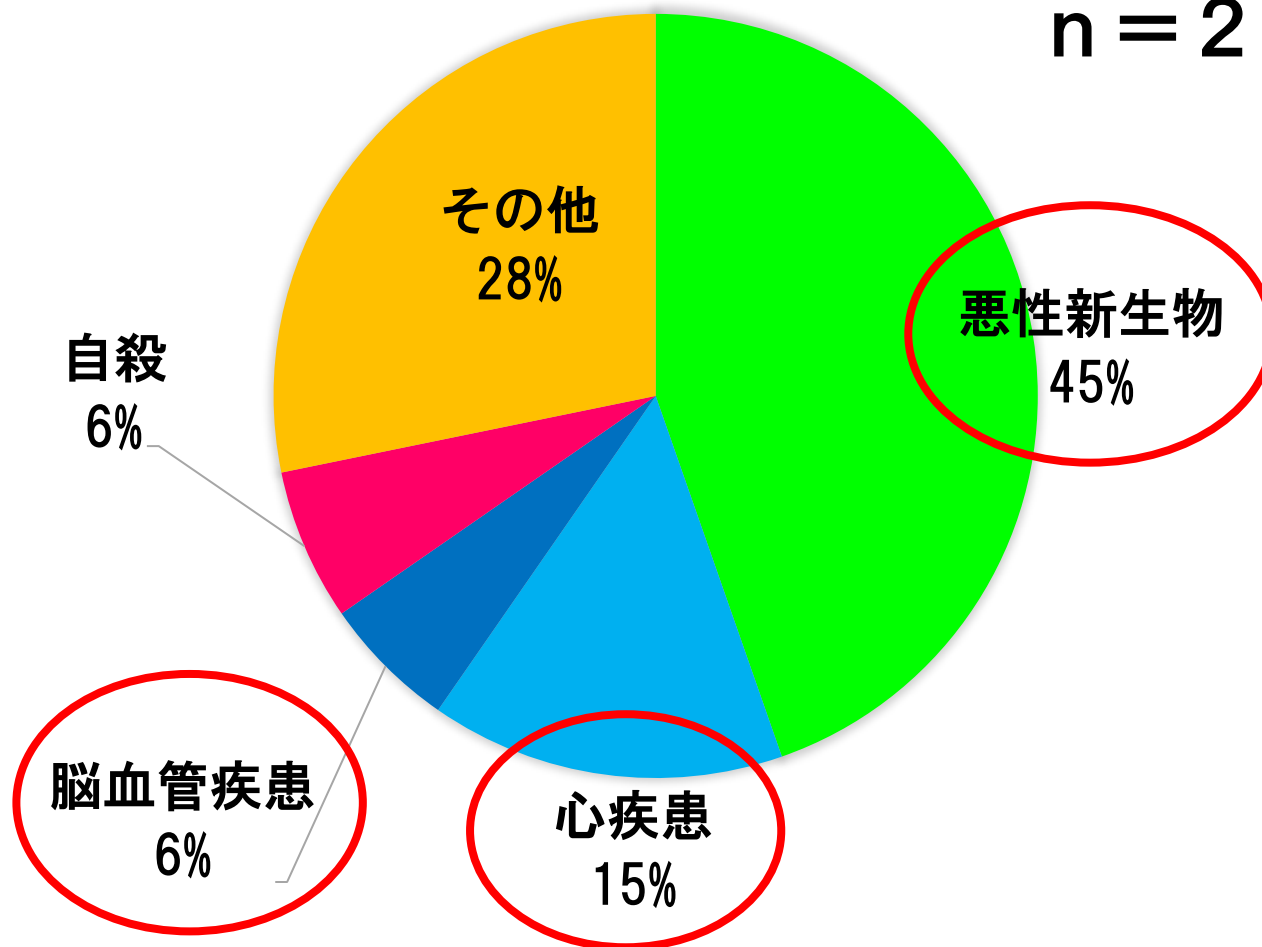


標準化死亡比（平成30年～令和4年）



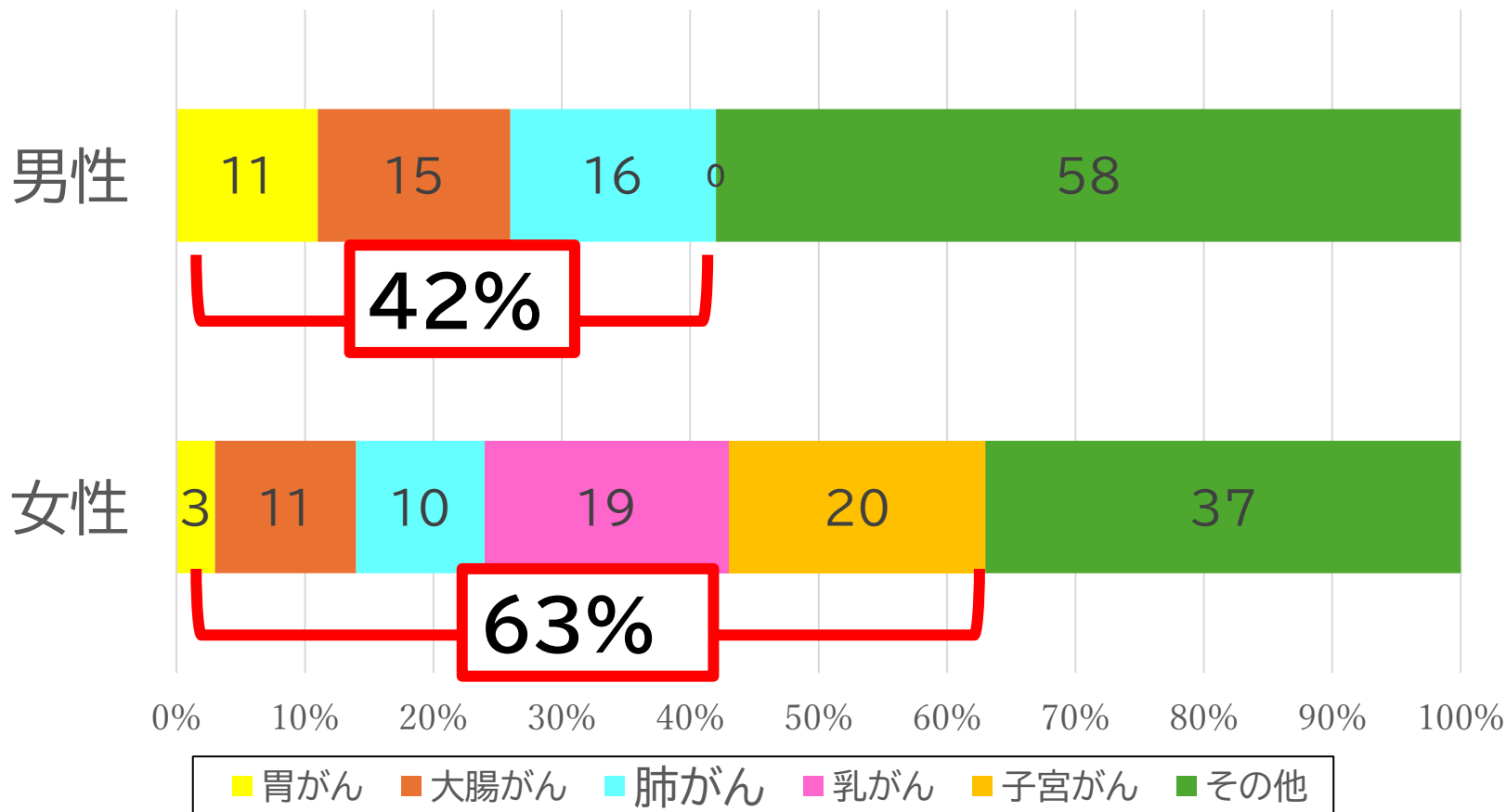
40～64歳の死因別死亡割合（R4～R6年）

n = 280

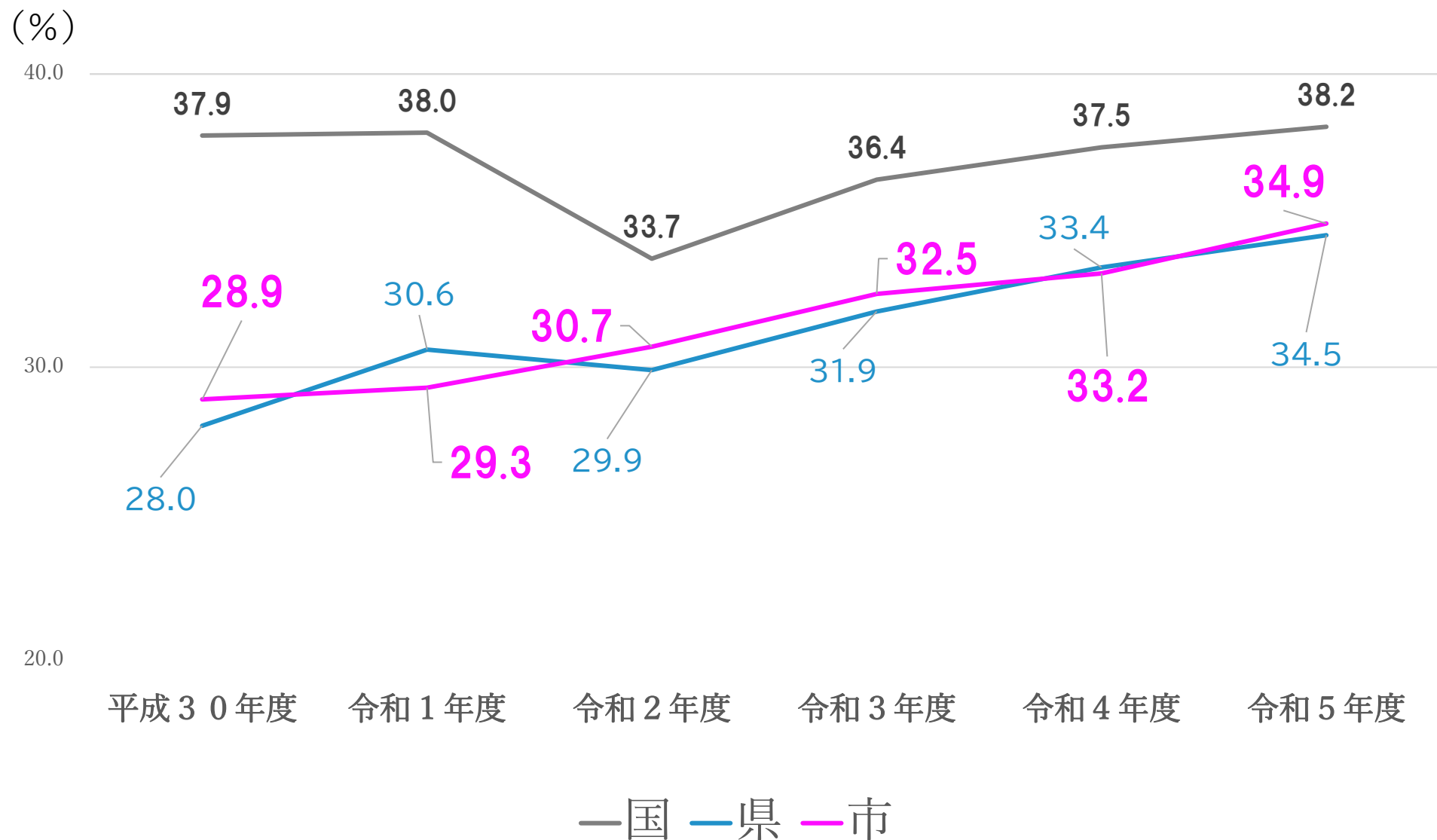


40～64歳のがんの種類別死亡割合 (令和4～6年)

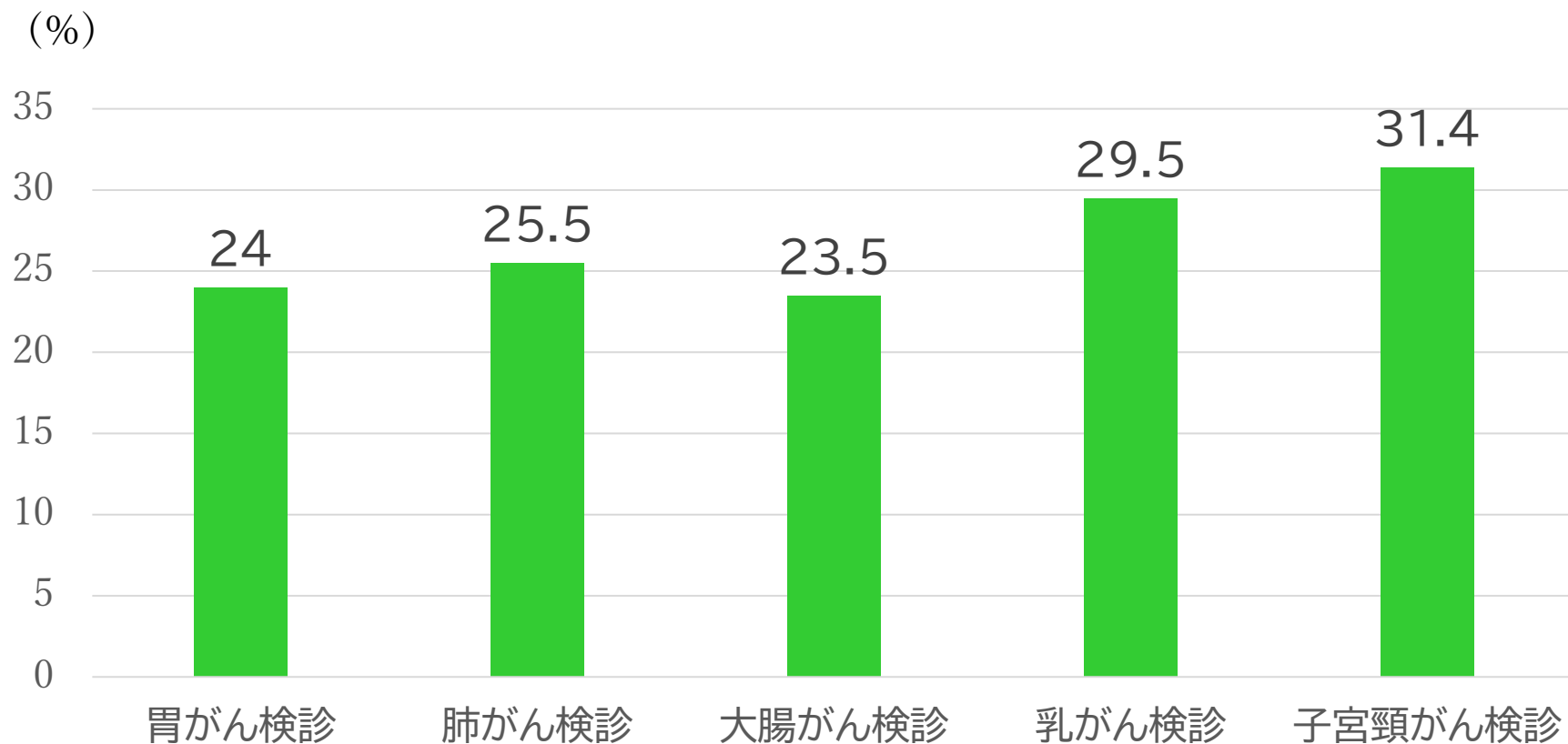
n = 1 2 5



国民健康保険 特定健康診査実施率

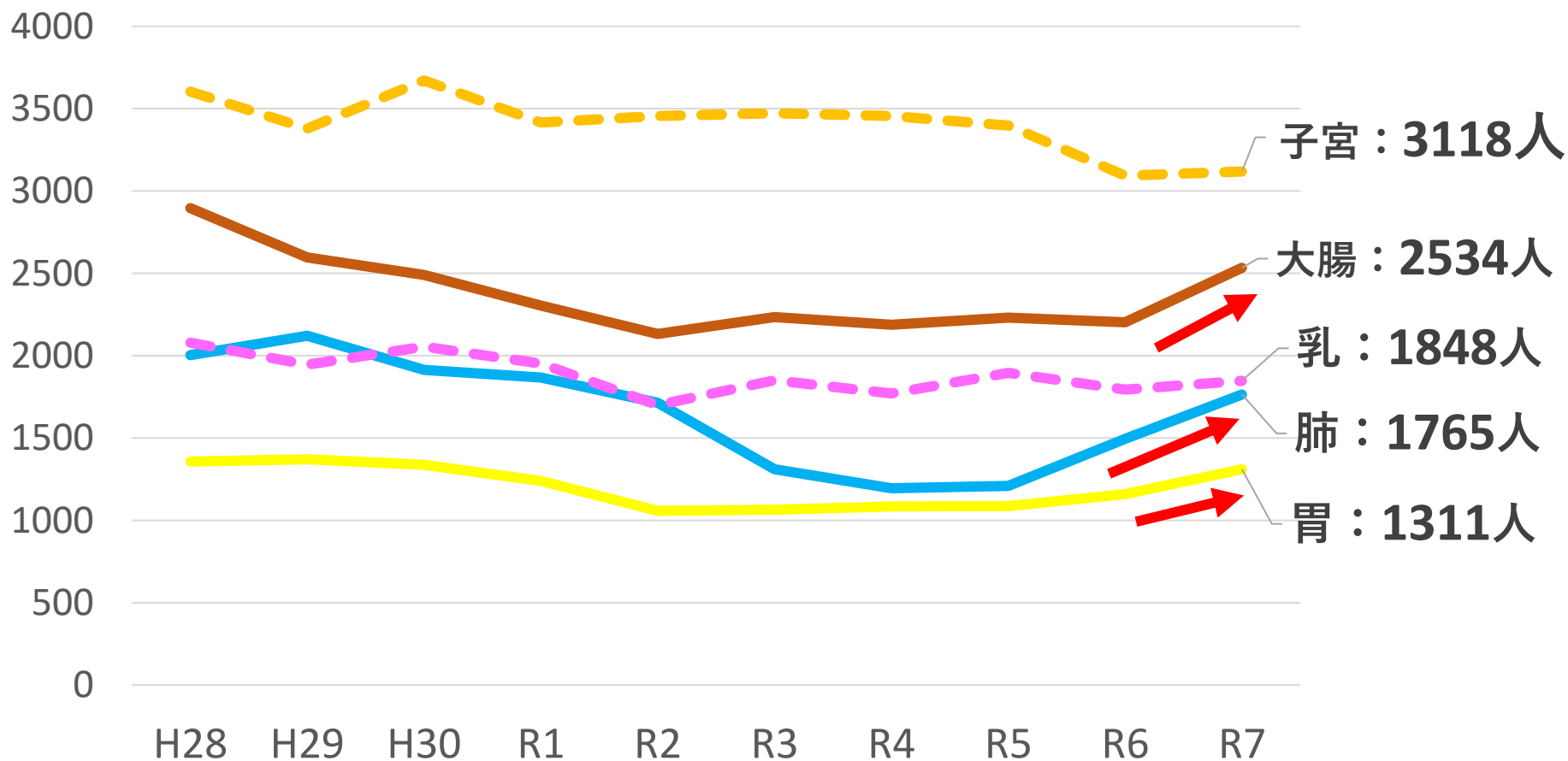


この1年間にがん検診を受けた人の割合 (乳がん、子宮頸がん検診は過去2年間)



令和6年度アンケート調査より

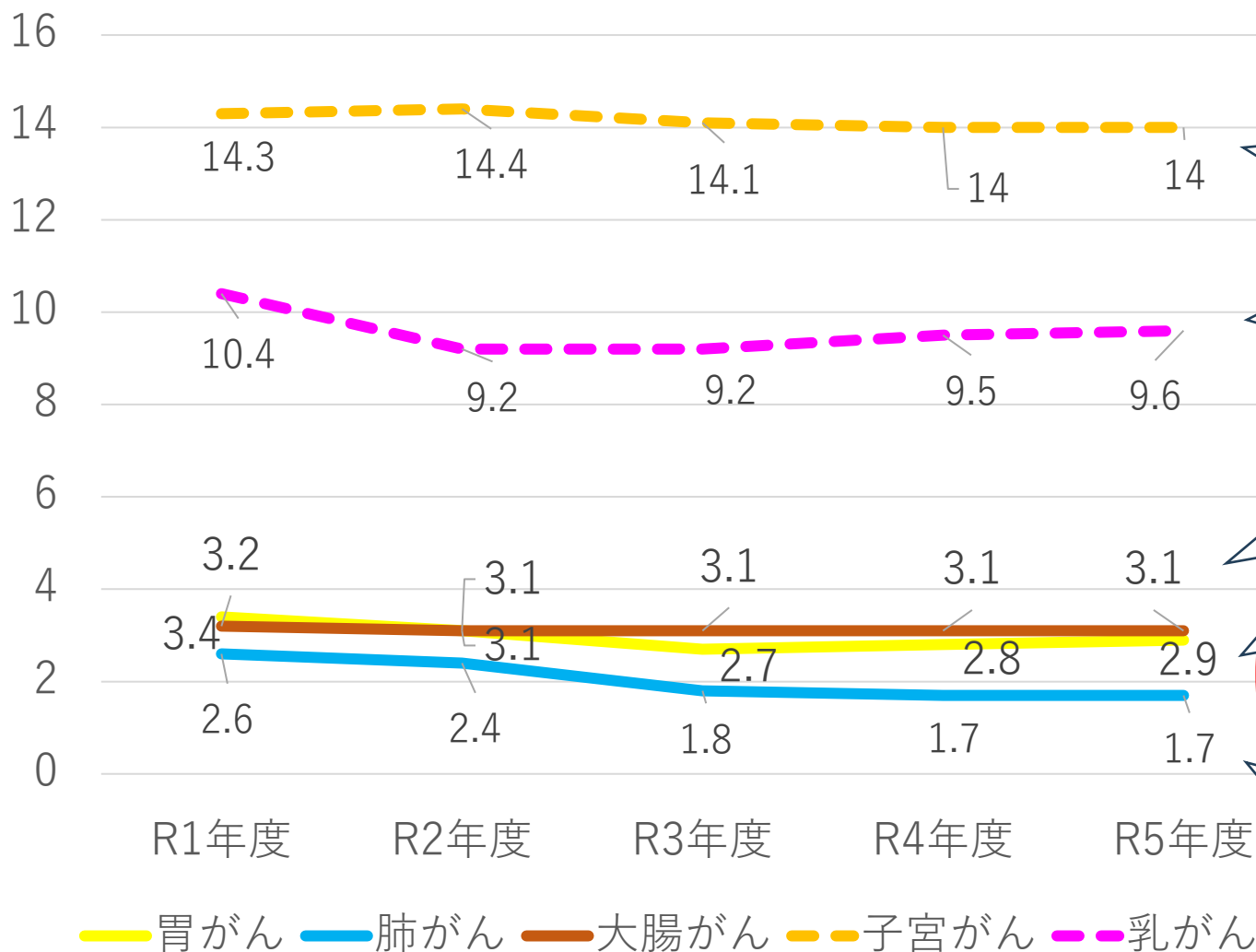
がん検診の受診者数(H28～R7年度)



胃がん 大腸がん 肺がん 乳がん 子宮がん

防府市がん検診受診率 (全世代)

(%)



山口県の受診率 (R5)

子宮頸がん : 12.3%
【県内順位 : 5位】

乳がん : 10.2%
【県内順位 : 12位】

大腸がん : 6.6%
【県内順位 : 19位】

胃がん : 5.8%
【県内順位 : 16位】

肺がん : 6.5%
【県内順位 : 19位】

がん検診受診率について

市のがん検診受診者数(人)

対象となる年齢の人口(人)

× 100

職場でがん検診受けている人も含む。

例:大腸がん検診受診率
(40才以上が対象)

$\frac{2,354\text{人}}{\text{約}70,000\text{人}(40\text{歳以上人口})} \times 100$

◆防府市のケンシンの課題◆

- ・死因の約半数は生活習慣病
- ・40～64歳の死因の66%は生活習慣病
- ・国保特定健診、がん検診を受診した人の割合は30%前後
- ・働く世代のケンシン受診状況が不明



家庭でも職場でも重要な役割を担う40～64歳（壮年期）。ケンシン受診をしていたら救える命があったかも・・・

防府市のこれまでの取組の一例(国保特定健診)

1 受診の案内

- ・ ホームページや特定健診サイトによりわかりやすい情報を届ける

2 健診

- ・ **がん検診等との同時開催**
- ・ 骨密度測定等を実施

3 未受診者への勧奨

- ・ **A I の活用**による受診勧奨
- ・ **かかりつけ医から**勧奨リーフレットを配布



防府市のこれまでの取組の一例(がん検診)

- 1 受診の案内
検診ガイドや市広報を活用して**わかりやすい情報を届ける**
- 2 検診
総合がん検診の実施日数を増やす
- 3 その他
「受診のきっかけ」となるポイントを見直す
➔**医師会と連携した受診勧奨**



大腸がん検診の内容

*** 検査内容について**

大腸がん検診は簡便で
がんを早期発見するために有効な検査方法です！

便潜血検査

- ・自宅でも実施しています。
- ・食事制限や痛みはありません。
- ・採便棒で便の表面全体をこすり取ります。

★微量で目に見えない出血を調べることができます。

採便棒で便の表面全体をこすり取る。

ケンシン・プラスワン運動

市民が健やかで心豊かに生活できるよう、

市民全体で「必要なケンシン（特定健診、がん検診等）を受診すること」を目指す。

そのためには・・・
一人でも多くの市民がケンシンを受ける

一人でも多くの
市民の命を守る

受診率1%アップ



ケンシン・プラスワン運動

～今より1%ケンシン受診率を上げよう～

目的

市民が健やかで心豊かに生活できるよう、市民全体ですべてのケンシン受診率1%アップを目指し「ケンシン・プラスワン運動」を展開します。

概要

新たなアイデアを！プラス1

「ケンシン・プラスワン運動推進委員会の開催」
みんなでアイデアを出し取り組もう

あなたの健康意識を！プラス1

自分の健康に関心がある市民をプラスワン！
「健康ファイル」の作成・活用
市民への周知をプラスワン
職域のケンシンの実態を知り、取組を支援しよう

若いあなたに！プラス1

若い世代への取組をプラスワン！
将来のために若い世代から健康に関心を持とう

委員としての役割

【委員会では】

- 防府市のケンシンの現状、課題を共有する
- 地域の実情や住民の声を出し合い、共有する
- 市民がケンシンを受けやすくするための方法を一緒に考える

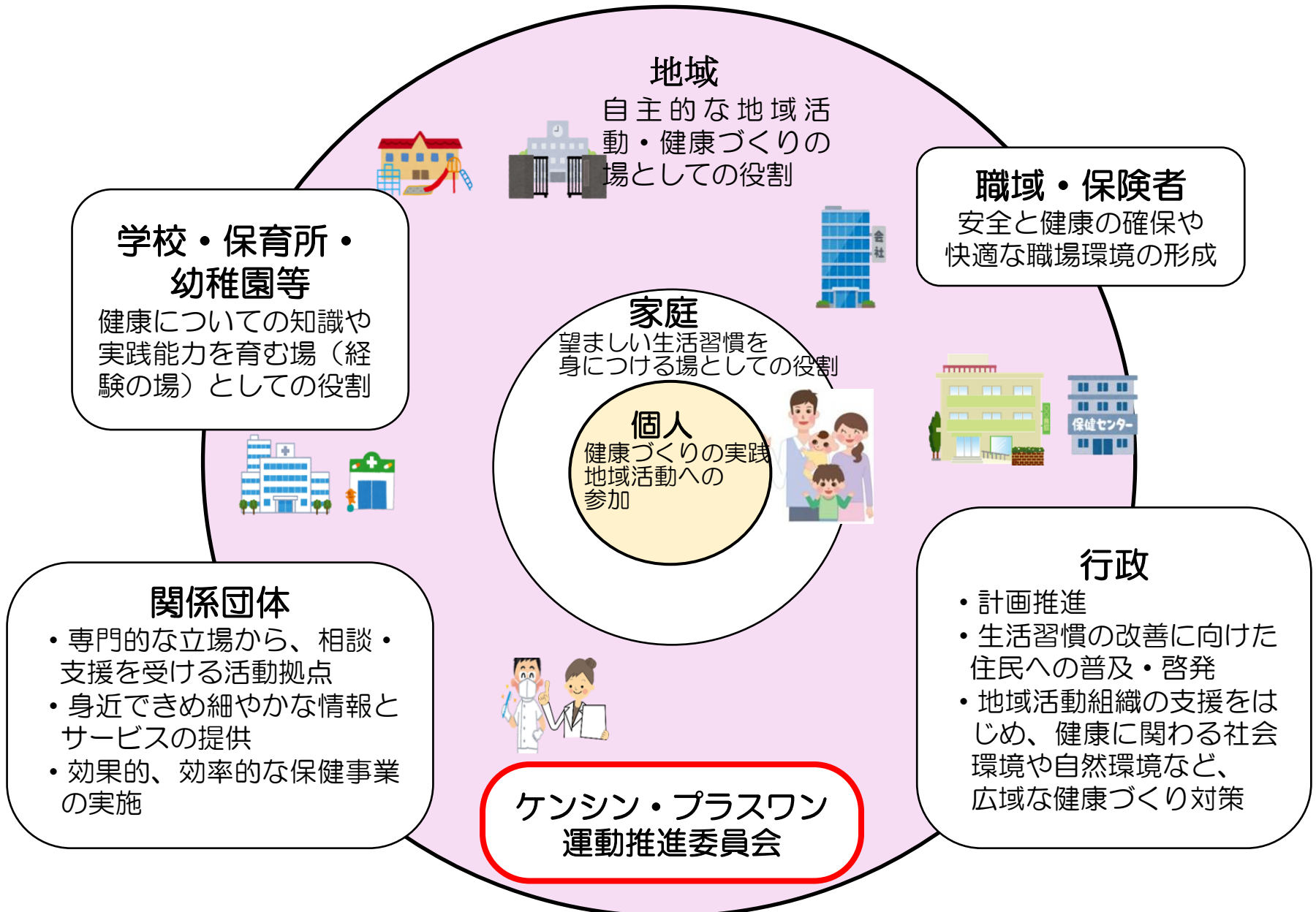
【各団体として】

- 活動の中で市民(関係者)へ働きかける(声かけや啓発活動、情報提供)
- 関係機関と連携し取り組む

- 🌸 防府市の現状を知り、防府市民の受診行動を広げるアイデア出しをお願いします。
- 🌸 各団体での取り組みをお願いします。



健康づくりの推進体制



最近あった相談より

①病気で定期的に受診しているけど、
ケンシンは受けないといけないの？

②がん検診は以前、痛かったから受けてない。
でも最近のがん検診はどうなの？

③ケンシンを受けたほうがいいのはわかっている
けど、受け方がわからない・・・



こんな市民にケンシンを受けてもらうためには・・・？

グループでの話し合い

- 1 これまでの取組
- 2 今後取り組めそうなこと
- 3 市民がケンシンを受けやすくする取組みのアイデア
- 4 その他

各団体のメンバー、職員、その家族、関わる人への
声かけ(受診を勧める)のアイデアやご意見